

般 質 問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第2回定例会では、

3月19日、23日の2日間にわたり

12人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》「幼児教育・保育の質の向上を」との声にどう応えるか

《A》良質な幼保環境を整備し、さらなる質の向上に努める

富永 訓正 議員（公明党）



幼保無償化の

課題について

全国の公明党議員が昨年未幼保無償化に関する実態調査を実施。その課題を聞く。

質問 「幼児教育・保育の質の向上を」との多くの声にどう応えていくか。

市長 事業者と連携し良質な幼保環境を整備し、さらなる質の向上に努める。

質問 事務負担の軽減など、どのようなことが課題で、改善されるべきか。

市長 利用者や事業者の事務負担の軽減を可能な限り図るとともに、国や東京都に改善を求めていく。

子どもの貧困対策を計画も含めどう進めていくか

質問 離婚後の養育費の受け取り支援制度に取り組む自治体がある中、市でも早急に同様な制度の導入を。

市長 都の新規事業の詳細を把握し調査・研究する。

多摩都市モノレールの

ルート延伸について

質問 上北台駅から箱根ヶ

崎方面への延伸の具現化が

近づく中、羽村市へのルート実現への今後の取組みは。

市長 関係自治体との連携、調査・研究を深め、皆様とともに機運の醸成を図り、実現に向けた要請を行う。

道路の維持・保全について

質問 道路維持保全計画等に無い部分や、素早い対策が必要な箇所への対応を。

市長 計画的な道路補修と合わせ、道路の緊急修繕など迅速な対応に努めていく。



街路樹の根上がりで歩きづらい歩道



《Q》ボランティア等の受援体制のマニュアル化を

《A》円滑な受け入れができるよう整備を図る

中嶋 勝 議員（公明党）



災害対策の

さらなる推進について

質問 台風19号の課題への対応は。

市長 ハード・ソフト対策等、早期に対応していく。

質問 救援物資の受け入れ及び、各避難所へ届ける物流搬送訓練も必要では。

市長 スポーツセンターを拠点とする、物資の受け入れ等に関する訓練の実施時期について検討する。

質問 公的支援やボランティア等を受け入れる際の受援体制のマニュアル化を。

市長 今後、円滑な受け入れができるよう整備を図る。

質問 専門的知識を備える「防災士」を地域に増やしていくことを望むが。

市長 資格取得への支援方法について研究していく。

新型コロナウイルスの感染拡大防止を

質問 タイムリーな情報提供や相談体制、マスクの補充等の取組みは。

市長 情報提供や相談体制

などさまざまな対策をしてきたが、まさに今、重要な時期である。引き続き感染拡大防止へ、関係機関と連携して市民の命を守る対応に全力を傾注していく。

買物支援について

質問 他市で無料送迎を実施している事業者がある。市内への導入検討は。

市長 買い物弱者、外出困難者支援活動として、令和2年度の実施へ向け、車両ルート等を検討中と聞いている。

質問 他市で無料送迎を実施している事業者がある。市内への導入検討は。

市長 買い物弱者、外出困難者支援活動として、令和2年度の実施へ向け、車両ルート等を検討中と聞いている。

質問 他市で無料送迎を実施している事業者がある。市内への導入検討は。

市長 買い物弱者、外出困難者支援活動として、令和2年度の実施へ向け、車両ルート等を検討中と聞いている。



買い物支援のための無料送迎バス

■その他の質問
「地方創生総合戦略2期について」



《Q》全学校共有の楽器管理の新体制を提案する

《A》実現に向けた検討を行っていく

石居 尚郎 議員（公明党）



「音楽のあるまちづくり」と学校の楽器について

質問 「楽器備品」を管理しやすくするため、全学校が共有できる管理の新体制を整えることを提案する。

教育長 各種備品の区分を明確にするなかで、楽器の台帳管理の充実を図る。学校間で共有できる体制作りは有効な手段と考えるので、学習コーディネーターや吹奏楽部顧問などと実現に向けた検討を行っていく。

羽村市の未来ビジョンは2030年、2040年、2050年を見据えて

質問 第六次長期総合計画は、日本や世界の潮流を意識して8年間とし、他の計

市長 協会では、今年度中に、動物のストレスを減らす目的で、飼育施設の大き

公益社団法人日本動物園水族館協会が今年からガイドラインを設けた。市の取組みは。

市長 協会では、今年度中に、動物のストレスを減らす目的で、飼育施設の大き

公益社団法人日本動物園水族館協会が今年からガイドラインを設けた。市の取組みは。

市長 協会では、今年度中に、動物のストレスを減らす目的で、飼育施設の大き

公益社団法人日本動物園水族館協会が今年からガイドラインを設けた。市の取組みは。

市長 協会では、今年度中に、動物のストレスを減らす目的で、飼育施設の大き

公益社団法人日本動物園水族館協会が今年からガイドラインを設けた。市の取組みは。



全国大会に出場した羽村一中吹奏楽部
(写真提供：株式会社フォトライフ)

画も同じ目標期間とできないか。
市長 近年の急速な社会経済状況の変化や技術革新の進展、市の人口や財政状況などを踏まえ、変化に迅速かつ臨機応変に対応できる計画として、策定していく。個別計画・分野別計画は、長期総合計画の計画期間に合わせていく。
公益社団法人日本動物園水族館協会ガイドラインに沿った動物公園に
質問 日本動物園水族館協会が今年からガイドラインを設けた。市の取組みは。
市長 協会では、今年度中に、動物のストレスを減らす目的で、飼育施設の大きさや構造などを自主的に規制する「適正飼育施設ガイドライン」を整備。羽村市動物公園でも、施設改修や建替えなどの際に、このガイドラインに沿った取組みを進めていく。



《Q》 鉄塔や送電線・市内電柱の耐えられる風速は

《A》 風速 40 メートルに耐える設計になっている

高田 和登 議員 (つながる力)



風害・停電対策と

無電柱化について

質問 栄緑地公園などにある鉄塔や送電線・市内の電柱は風速何メートルの強風まで耐えられるのか。

市長 風速40メートルに耐える設計になっている。

質問 羽村市地域防災計画の第5部は「風水害対策」であるが、その多くは水害対策であり、風害対策の記載を充実するべきでは。

市長 令和2年度の改訂の際には、風害の対策を盛り込んでいく。

質問 市役所の屋上に設置された気象観測装置は活用されたか。

市長 風向・風速などについて、今年度から運用して

いる気象観測装置の数値を活用している。

質問 市庁舎の自家発電設備は何時間使用できるか。

市長 72時間の連続運転が可能。

質問 避難所の停電対応は。

市長 従来から、必要最低限の電力を賄うための対応を行っている。昨年、日産自動車株式会社などと協定を締結し、電気自動車の使用も可能になった。

質問 小作駅東口などの都道は無電柱化しているが、市道に対しても「防災に寄与する路線」としての補助制度の活用を検討すべき。

市長 今後、国や都の支援制度も活用しながら、調査・研究を進める。

小中学校の

ICT活用について

質問 パソコンの保守管理費用の財源は。

市長 国や都に対し、保守管理費などを補助対象経費に含むよう要請する。



栄緑地公園に立つ東京電力の送電塔



《Q》 はむりんのデザインマンホールを作製しては

《A》 観光施策に活かすよう検討する

西川 美佐保 議員 (公明党)



農・商工業・観光等の

連携について

質問 市内の農家、会社等と連携し、ふるさと納税の返礼品にもなる特産品を考へては。

市長 市の魅力ある返礼品を取り揃え、多くのご寄付をいただけるよう取り組み、市の特産品としてPRしたい。

質問 はむりんのデザインマンホール作製を。

市長 都の補助事業を活用し観光施策に活かすよう検討する。

羽村のイメージ戦略を

全国には、「羽」と名がついた自治体があり、羽^{はむり}村など、イメージ戦略で成功し、交流人口を増やして

いる。

質問 羽村市を「天使のまち」として「羽」と付いた自治体と連携しては。

市長 貴重な提案として受けとめる。

水上公園などの今後の整備・活用について

質問 水上公園の今後の活用は。

市長 年間を通して、多くの子どもや親子連れが楽しむ施設として、検討している。

質問 市民にアイデアや意見を聞く場も必要では。

市長 ささまざまな意見をお聞きし、検討を進めたい。

「童話の創作コンクール」を羽村から

羽村第一中学校では、幼稚園等交流事業で童話を作り、読み聞かせが好評と伺っている。

質問 市でも創作童話コンクールを行っては。

教育長 将来的な羽村市のコンクール実

施に向け、気運醸成をはかる。



今後の活用が検討される水上公園



《Q》補助金・助成金の削減はどのような考えに基づくか

《A》市の財政が厳しい中、必要な事業を継続するため

馳平 耕三 議員（令和かがやき）



行財政改革の方向性を問う

質問 補助・助成金の20%一律削減は、住民福祉の観点からどのような考えに基づくか。

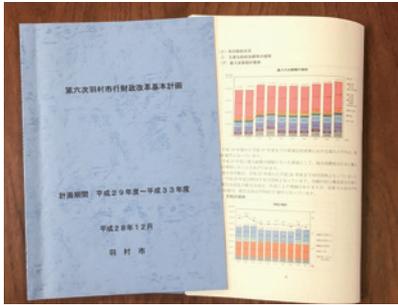
市長 住民福祉の増進を図り、必要な事業を継続するため、事業費の抑制を図ることが必要である。

質問 20%削減とならないものはあるか。

市長 義務的性格の高いものや防災安全、子育て分野などについては20%の削減を行っていない。

質問 行財政改革推進本部会議で行財政改革の方向性は決められているが、その議論の過程は公開されるか。

市長 検討・協議の段階で



第六次羽村市行財政改革基本計画

は公開していないが、方向性の決定を得た段階で、会議録などは開示対象としている。

町内会自治会の負担軽減を

質問 町内会・自治会が主として行われてきたイベントを見直す考えはないか。

市長 限られた予算の中で創意工夫して充実したものを考えていく。

質問 各種寄付集めなど、町内会の仕事ではないものは整理すべきではないか。

市長 募金などは、個人の意思で行われるもので、周知方法について社会福祉協議会と検討を進めていく。

質問 高齢で閲覧板を回せないという理由で退会したという人が増加している。新たな情報発信を考えるべきでは。

市長 閲覧板やSNSなど、メリットを活かした情報発信を図っていく。

■その他の質問「宿題は本当に必要か」「生徒・児童の自己決定の場を増やすことが主権者教育につながるのではないか」



《Q》羽村大橋からの都道、堀割部の工事は

《A》立体交差部は都の事業。整備内容は示されていない

山崎 陽一 議員（世論）



区画整理撤回要求第52弾

質問 計画図の整備時期の施工予定年度とは権利者の新生活が始まる時か。

市長 区画道路や宅地造成工事などの整備着手の予定時期。仮換地先使用時期は、個々の権利者に示す。

質問 大橋からの都市計画道路3・4・12号線の掘割部は都施工か。交付金額は。

市長 道路計画線内の用地空けと平面部の整備は市であり、交付金は5億4008万5千円である。立体交差部は都の別事業だが、事業化されておらず整備内容は示されていない。

質問 移転補償交渉で、清算金の説明がない、と聞か



事業化されていない大橋からの都道予定地

市長 清算金の質問があれば過去の事例も挙げ説明する。

質問 マンション所有者・賃貸居住者の補償交渉は。

市長 建物調査は双方から了承を得るが、移転協議は補償内容が異なるため、個別に行う。所有者には建物等の補償や賃貸収入があれば家賃減収補償をする。賃貸居住者には引越しの動産等の移転料、新たな賃借の権利金や敷金等の一時金、諸手続きなどの移転雑費、所有工作物などである。

質問 「事業には強制力がある」「直接移転はできない」の誤り発言に、どんな指導をしたか。

市長 市職員・公社職員に、誤解を招かぬよう適切な対応を指示した。

質問 商工業後継者から、「街のビジョンが見えず将来設計が不安」の声がある。

市長 利便性の高い駅前市街地の再編を

図る。



《Q》水道原水の調査結果はどうだったか

《A》1.36～1.86 ナノグラムだった

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



立川市などの井戸から
検出された有害物質

（PFOS、PFOA）について

質問 衣服のはっ水剤やフライパンの焦げ付き防止に使われていた「有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）」が、発ガン性や、胎児への悪影響をもつことが指摘され、問題になっている。

この物質が、日本中で地下水を汚染している実態も明らかになり、工場や米軍基地からの漏出が疑われている。昨年、都が行った調査では、立川市の井戸水から米国の勧告値（1リットルあたり70ナノグラム）の19倍の濃度が検出された。どのような情報を得ているか。



調査が行われた羽村の水

市長 東京都福祉保健局が、横田基地周辺の4か所の井戸を調査し、1リットル当たり

の当該物質の合計値で、立川市で1340ナノグラム、武蔵村山市で143ナノグラムを検出したとのことである。

質問 昨年9月に行った羽村市の水道原水の調査結果はどうだったか。

市長 1リットルあたり1・36～1・86ナノグラムであり、米国の勧告値を大きく下回った。

質問 横田基地でのPFOS、PFOAの使用はどうなっているか。

市長 横田基地においては、平成28年以降、PFOSを含む泡消火剤を使用しておらず、保有しているものは厳格に管理しているとのことである。

■その他の質問
「羽村市の温暖化対策はどうなっているか（その2）」



《Q》流れるプールの変更は、市民の意向をよく聞くべきでは

《A》行政改革本部で慎重に検討し 見直しの方向性を決定した

浜中 順 議員（日本共産党）



流れるプールは、
市民の意見をしっかりと
聞き再開すべき

聞き再開すべき

市は流れるプールの廃止の意向も理由も、市民に伝えていない。

質問 難病患者福祉手当削減、市役所連絡所閉鎖、コミュニティセンターの休館日変更など、市民の意見を聞かないとの声がある。流れるプールの方針も市民説明会、一般市民枠の多い審議会、アンケートなど市民の意向をしっかりと聞いたり説明する機会をつくるべきでは。

市長 行政改革推進本部で慎重に検討を重ね、見直しの方向性を決定した。



水上公園の流れるプール

借金頼り・住民への
過重負担の区画整理は
大幅な見直しを

大幅な見直しを

羽村駅西口区画整理への突出した偏った巨額の税金の使い方は、多くの市民には受け入れられない。住民の生活も破壊し、困難山積の区画整理は早急に大幅に見直すべきである。

質問 「住民の気持ちに寄り添う」との市長答弁に聞し、「2度の引越し、仮住まい、建て替えが生活を壊す」との移転対象者の声に対し、どう考えているのか。

市長 建物等の移転には、適切に補償している。

質問 自宅を売却して転出する世帯が続く中で、市は住民の街づくりの意欲や連帯をどのようにつくり、維持しようとしているか。

市長 整備完了後には、継続したコミュニティの醸成や地域活動が可能となる事業である。

業である。

